

令和4年度 総合教育会議

学校教育における現状と今後の課題
岬町のこどもの未来のために



みさっきー
マスコットキャラクター

岬町のこどもたち

(学力調査児童生徒質問紙より)

- 授業中のパソコン利用
- 人の役に立つ人間になりたい（地域や社会との関わりも含む）
- 授業に対する意欲や取組

成果



- 生活習慣（朝食・睡眠）のリズムが安定していない
- スマホ使用時間長い
- 読書する時間が少ない

課題



岬町のこどもたち

(令和4年度全国学力学習状況調査より)

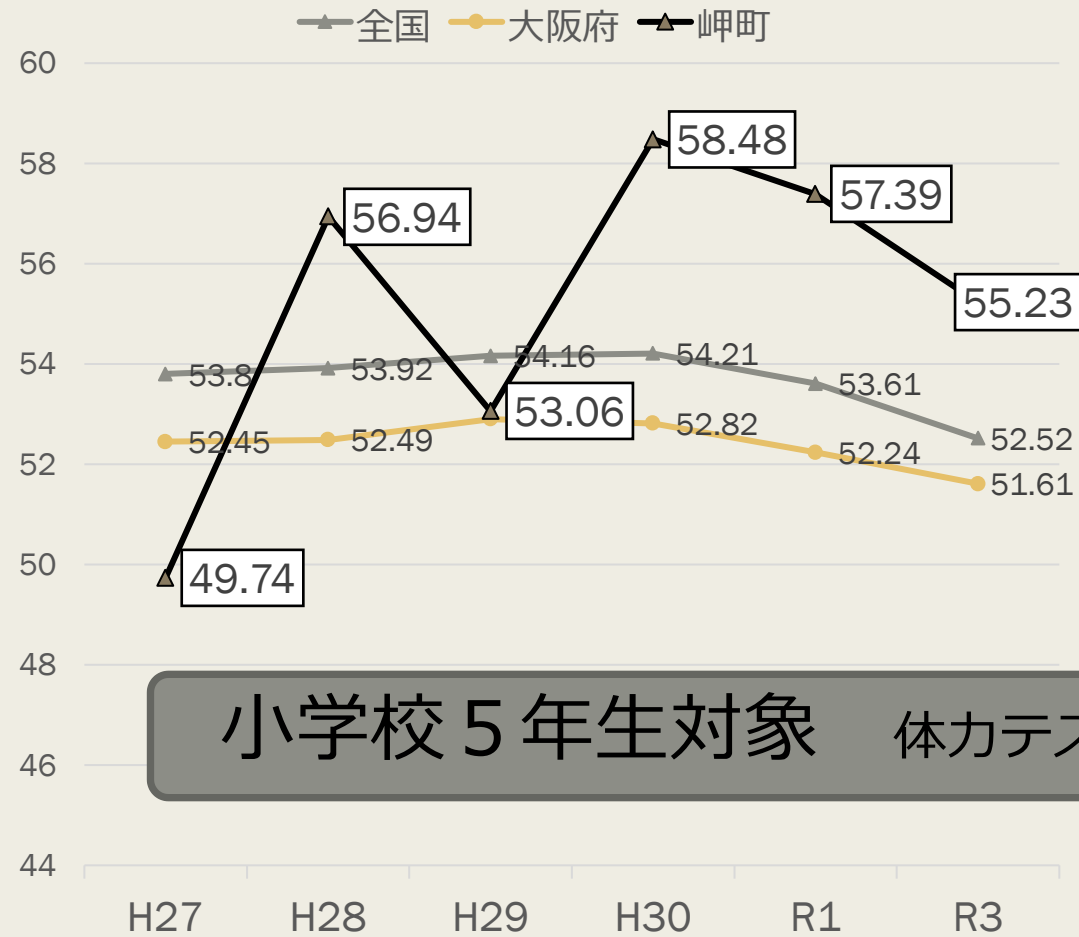
小学校国語	領 域 等	岬町の平均正答率(%)	大阪府の平均正答率(%)
	話 す こ と・聞 く こ と	57.0	64.4
	書 く こ と	41.3	46.0
	読 む こ と	64.8	65.9
	言葉の特徴や使い方に関する事項	63.5	67.5
小学校算数	領 域 等	岬町の平均正答率(%)	大阪府の平均正答率(%)
	数 と 計 算	64.7	69.1
	図 形	60.5	62.9
	変 化 と 関 係	46.5	51.2
	デ ー タ の 活 用	62.0	68.7
小学校理科	領 域 等	岬町の平均正答率(%)	大阪府の平均正答率(%)
	エ ネ ル ギ ー	54.4	49.0
	粒 子	57.7	56.8
	生 命	73.7	72.3
	地 球	65.1	61.0

岬町のこどもたち

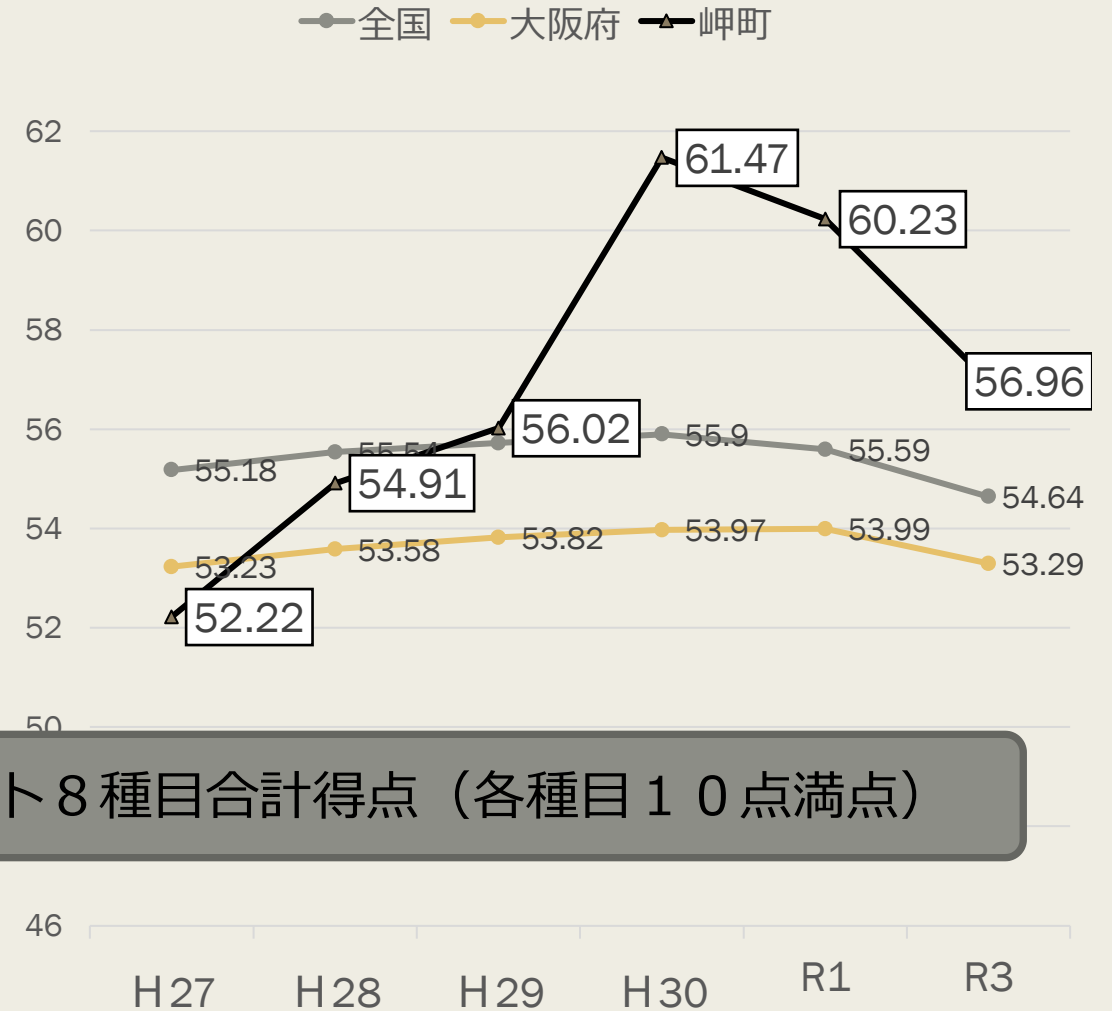
(令和4年度全国学力学習状況調査より)

中学校国語	領 域 等	岬町の平均正答率(%)	大阪府の平均正答率(%)
	話 す こ と・聞 く こ と	61.9	59.9
	書 く こ と	42.2	43.6
	読 む こ と	72.2	66.2
	言葉の特徴や使い方に関する事項	77.4	70.7
中学校数学	領 域 等	岬町の平均正答率(%)	大阪府の平均正答率(%)
	数 と 式	72.0	56.7
	図 形	44.4	43.2
	関 数	49.3	43.6
	デ ー タ の 活 用	60.0	55.4
中学校理科	領 域 等	岬町の平均正答率(%)	大阪府の平均正答率(%)
	エ ネ ル ギ ー	43.5	38.9
	粒 子	57.6	48.7
	生 命	63.6	53.2
	地 球	41.1	42.8

体力合計（小学5年男子）



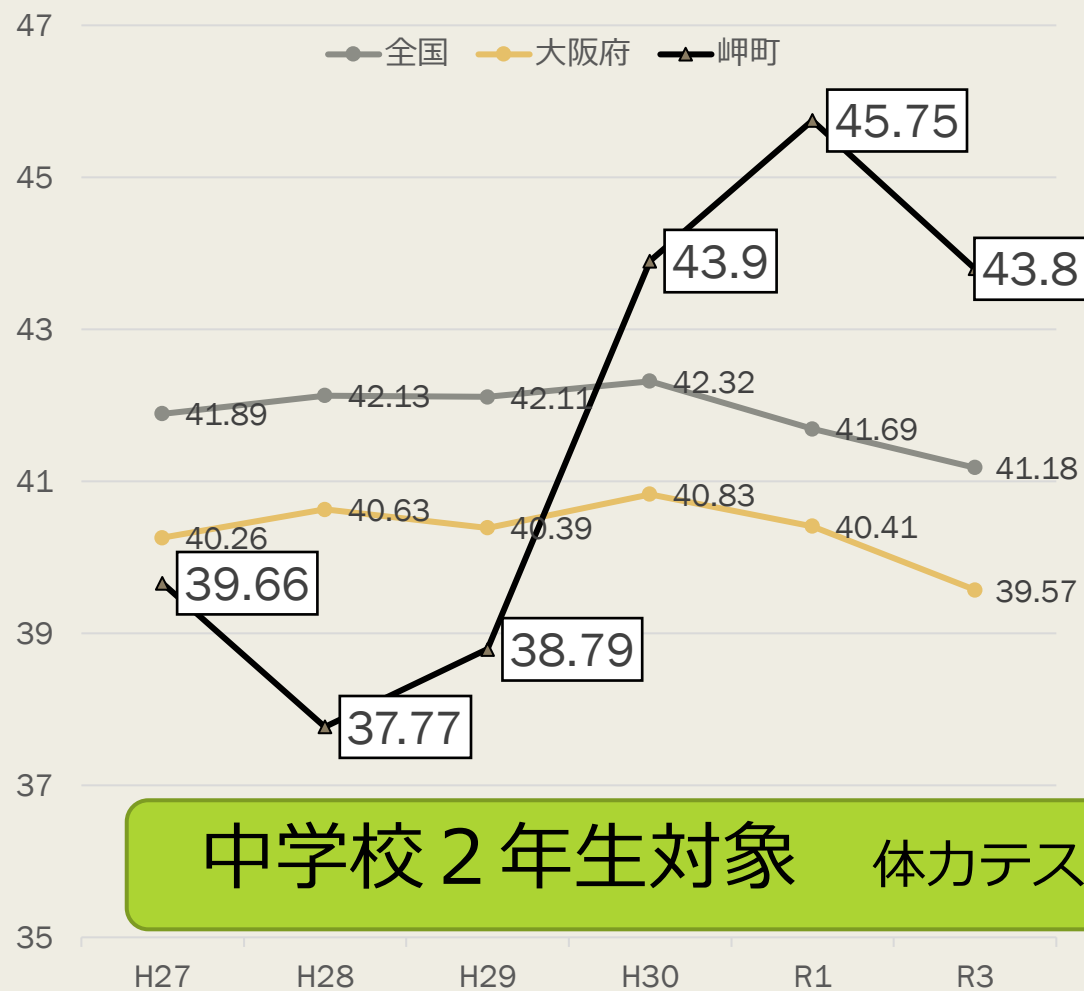
体力合計（小学5年女子）



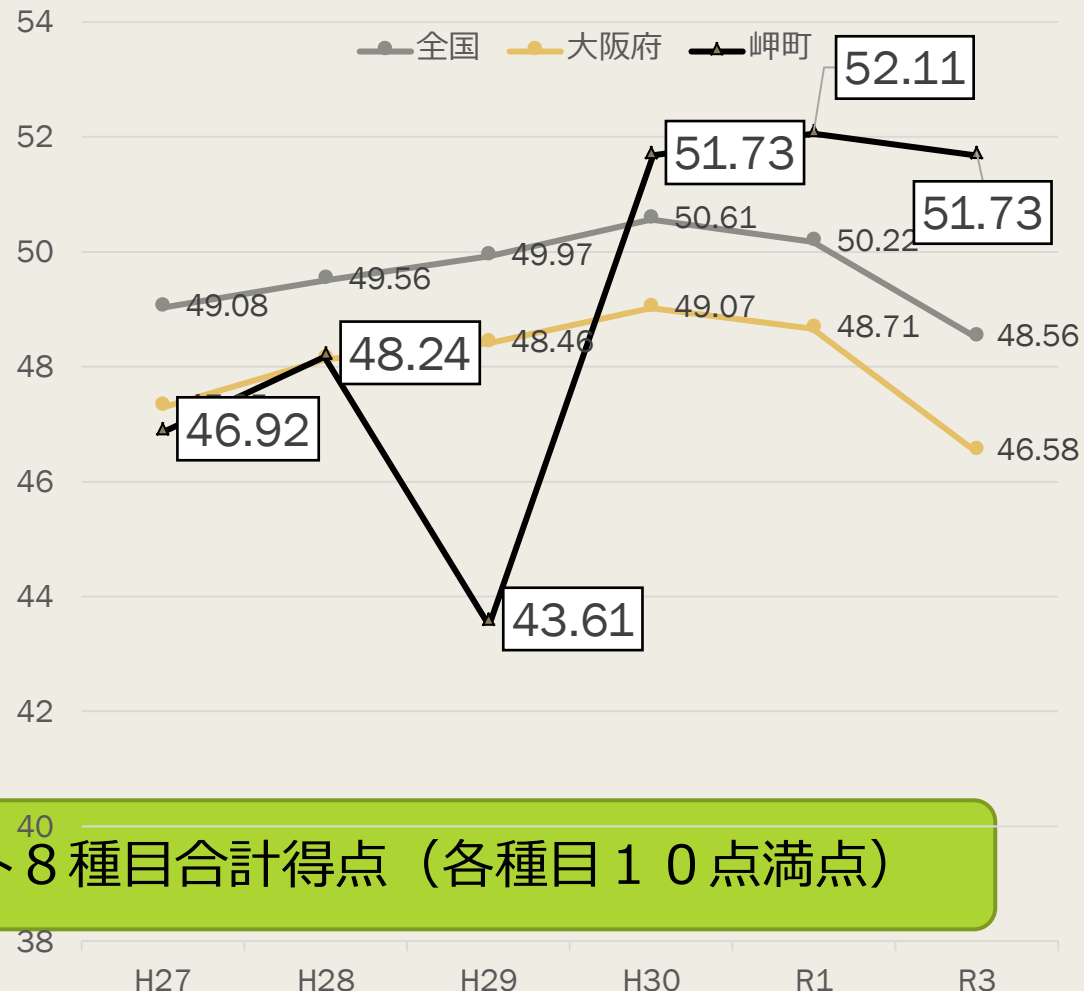
小学校5年生対象 体力テスト8種目合計得点（各種目10点満点）

岬町のこどもたち（R3年度全国体力調査より）

体力合計（中学2年男子）



体力合計（中学2年女子）



中学校2年生対象 体力テスト8種目合計得点（各種目10点満点）

岬町のこどもたちに 「つきたい力」とは

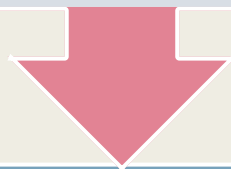


- これからの学校には・・・一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められている。（学習指導要領前文）

【文科省】 これからの学校教育 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

【社会背景】 急激に変化する時代

「Society5.0時代」 「予測困難な時代」 「デジタル化、DX」



子どもたちに育むべき資質・能力

多様な人々と協働・持続可能な社会の創り手

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（中央教育審議会答申）

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

社会背景

【急激に変化する時代】

- 社会の在り方が劇的に変わる「**Society5.0時代**」
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など先行き不透明な「**予測困難な時代**」
- 社会全体の **デジタル化・オンライン化、DX加速の必要性**

子供たちに育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

【ポイント】

- ✓ これらの資質・能力を育むためには、**新学習指導要領の着実な実施**が重要
- ✓ これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、**ICTの活用**が必要不可欠

2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

「日本型学校教育」とは？

子供たちの知・徳・体を一体で育む学校教育

- 学習機会と学力の保障
- 全人的な発達・成長の保障
- 身体的・精神的な健康の保障

【新しい動き】



新学習指導要領の着実な実施



学校における働き方改革

GIGAスクール構想

【成果】

国際的にトップクラスの学力

学力の地域差の縮小

規範意識・道徳心の高さ

【今日の学校教育が直面している課題】

子供たちの多様化

生徒の学習意欲の低下

教師の長時間労働

情報化への対応の遅れ

少子化・人口減少の影響

感染症への対応

「正解主義」や「同調圧力」への
偏りからの脱却



一人一人の子供を主語にする
学校教育の実現

「**日本型学校教育**」の良さを受け継ぎ、更に発展させる／
新しい時代の学校教育の実現

【文科省】今日の学校教育が直面している課題

子どもたちの
多様化

情報化への対
応の遅れ

生徒の学習意
欲の低下

少子化・人口
減少の影響

教師の長時間
労働

感染症への対
応

【文科省】 新しい時代の学校教育

学習指導要領の着実な実施

ICT活用（GIGAスクール構想）

働き方改革

岬町のこどもたちの今

★学習指導要領の着実な実施

①主体的・対話的で深い学びの実現



岬町のこどもたちの今

★学習指導要領の着実な実施

②地域連携

「多奈川小学校フェスタ」など

③小小連携・小中連携

④官民連携事業

近畿大学・塩野義製薬・大塚製薬など

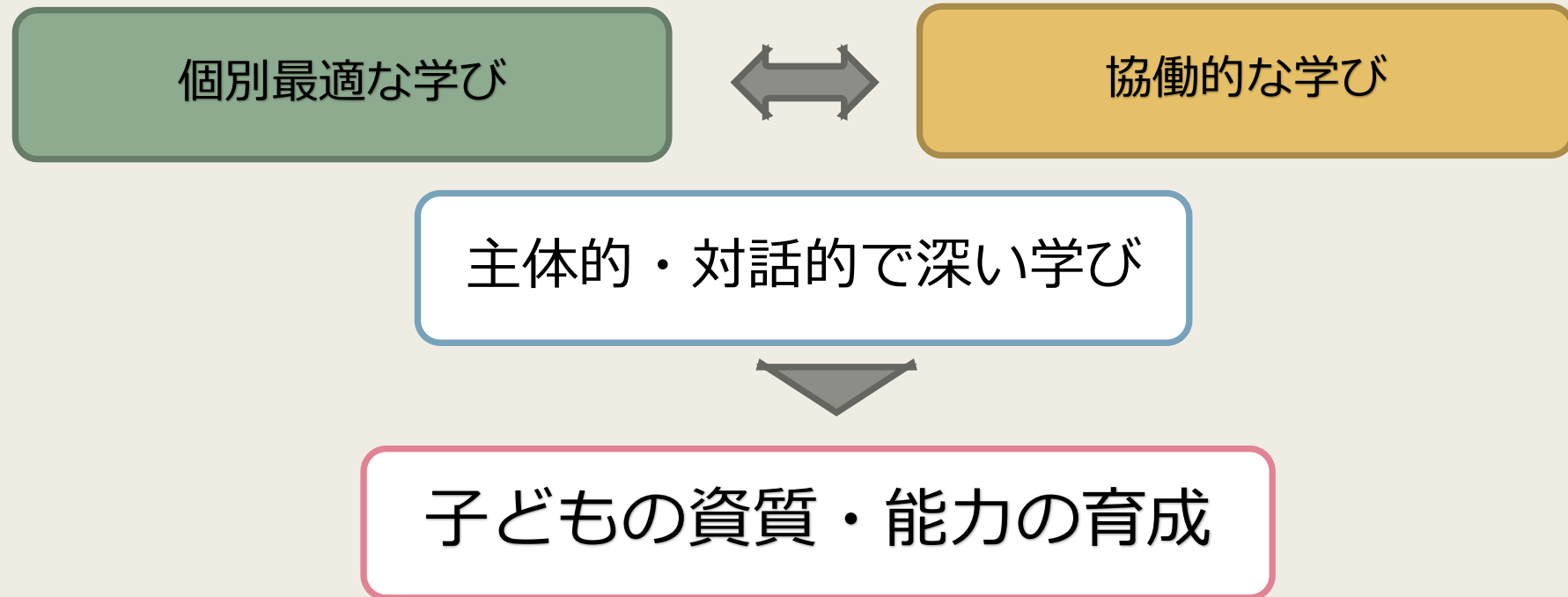


深日小・多奈川小合同授業の
ようす

岬町のこどもたちの未来

★学習指導要領の着実な実施

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」



新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係

2030年の社会と子供たちの未来（平成28年12月中央教育審議会答申から抜粋）

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難に

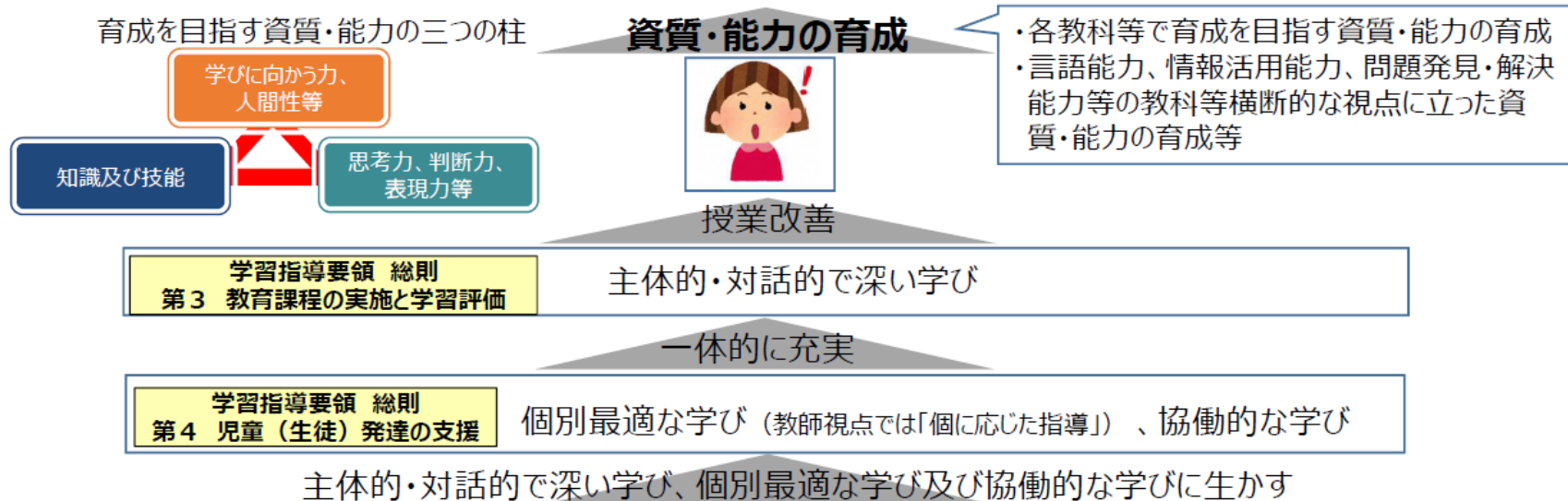


社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つのであれば難しい時代

変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものに

平成29年、30年、31年学習指導要領

前文 これからの学校には、（略）一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。



教育・学習におけるICT活用の特性・強みを生かし、新学習指導要領の趣旨を実現するため重要な役割を果たす。

※Global and Innovation Gateway for Allの略

岬町のこどもたちの今

★ICT教育について

- 整備状況について
- 教育推進の取組状況について



多奈川小学校 研究授業

GIGAスクール構想の環境整備

令和元年12月、文部科学省から「GIGAスクール構想」が発表されました。

GIGAスクール構想とは

GIGAスクール構想とは、子ども達への1人1台端末と高速で大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、特別な支援を必要とする子どもを含め、多彩な子ども達の資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する計画のこと。変化の激しい社会を生きる子ども達に対して、ICTを活用し新しい教育へシフトしていくことを表している。

GIGAとは「**G**lobal and **I**nnovation **G**ateway for **A**ll」の通称。
つまり「全員がグローバル（国際舞台）と
イノベーション（革新的創造）の扉を開けることので
きる学校にしていこう！」という意味である。



GIGAスクール構想の背景とねらい

H29、H30年度に改定された、学習指導要領で「情報活用能力」が言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」の一つとされ、情報活用能力の育成に「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適正に活用した学習活動の充実を図ること」が必要と記載されている。このような最新の学習指導要領の実施を見据えて、「2018年度（H30）以降の学校におけるICT環境の整備方針について」取りまとめられました。それに対応するため、GIGAスクール構想の実現が始まります。

では、学習指導要領でこのように大きく情報活用能力の育成が扱われているのはなぜでしょうか。

現在の社会で起こっている情報技術の進化と社会の劇的な変化に関係しており、情報技術人材が十分に育っていない。効率の悪い働き方が改善されていないことと関係していると考えられる。また、海外ではICTが学習の道具としてごく普通に活用されているのに比べて、日本ではICTはゲームやチャットなど娯楽や余暇の道具とみなされ、学校ではあまり活用されていなかった。

このような背景から、学習指導要領において情報活用能力の重要性が強調され、また、GIGAスクール構想が進められることとなり、特にGIGAスクール構想は、児童生徒が一人1台の学習用端末を使い「いつでもどこでもインターネットにつなぎ、調べ学び考え対話する知的な活動を行う」ことをねらいとしている。

学校のICT環境整備に係る地方財政措置

教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）

新学習指導要領においては、情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る」ことが明記されるとともに、小学校においては、プログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的にICTを活用することが想定されています。

このため、文部科学省では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」を取りまとめるとともに、当該整備方針を踏まえ「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」を策定しました。また、このために必要な経費については、**2018～2022年度まで単年度1,805億円の地方財政措置を講じる**こととされています。

目標としている水準と財政措置額

- 学習者用コンピュータ **3クラスに1クラス分程度整備**
- 指導者用コンピュータ **授業を担当する教師1人1台**
- 大型提示装置・実物投影機 **100%整備**
各普通教室**1台**、特別教室用として**6台**
（実物投影機は、整備実施を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備）
- 超高速インターネット及び無線LAN **100%整備**
- 統合型校務支援システム **100%整備**
- ICT支援員 **4校に1人配置**

・1日1コマ分程度、
児童生徒が1人1
台環境で学習でき
る環境の実現



- 上記のほか、学習用ツール^(※)、予備用学習者用コンピュータ、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバー、校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェアについても整備

（※）ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどをはじめとする各教科等の学習活動に共通で必要なソフトウェア

標準的な1校当たりの財政措置額

都道府県

高等学校費 **434** 万円（生徒642人程度）

特別支援学校費 **573** 万円（35学級）

市町村

小学校費 **622** 万円（18学級）

中学校費 **595** 万円（15学級）

※ 上記は平成30年度基準財政需要額算定における標準的な所費額（単年度）を試算したものです。各自治体における実際の算定に当たっては、様々な修正があります。

岬町立小中学校における学校 I C T 整備状況について

文部科学省

教育の I C T 化に向けた環境整備5ヵ年計画（2018年（H30）～2022年（R4））

	計画時	岬町立小中における学校ICT整備の進捗状況 （R4.11.1現在）
・ 学習者用コンピュータ	3クラスに1クラス分程度 （1日1コマ分程度）	★一人一台の端末 1回目…R2.11（570台） 2回目…R2.12（329台） 計899台 （新型コロナウイルス感染症対策のため前倒し）
・ 指導者用コンピュータ	授業を担当する教員一人1台	R3.3（45台）
・ 大型提示装置・実物投影機	100%整備 （各普通教室・特別教室）	・ 大型提示装置 R3.3（47台） ・ 画像転送装置 R3.3（60台）
・ 超高速インターネット	100%整備	情報通信ネットワーク環境施設整備 R3.1
・ 無線 L A N	100%整備	無線 L A N 整備…R2.8
・ 統合型校務支援システム	100%整備	未設置
・ I C T 支援員	4校に1人配置	R2.11～R3.3…GIGAスクールサポーター R3.4～…I C T 支援員
※上記の他、学習用ツール（デジタルフォォーエデュケーション・スクールタクト）、予備用学習用コンピュータ（45台）、充電保管庫（39台）セキュリティに関するソフトウェア（アイフィルタ）を整備		

他にも・・・ 持ち帰り用やオンライン授業用として

モバイルルーター（30台）ビデオカメラ（41台）スピーカー（12台）

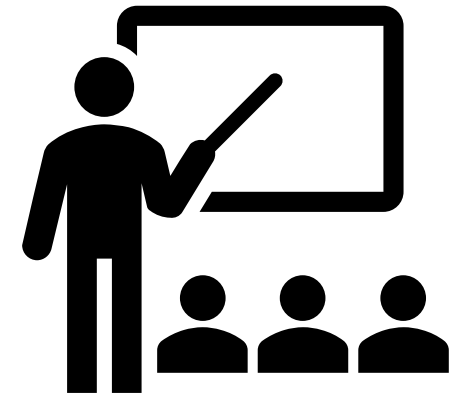
児童生徒の画面確認機能等ができる授業支援システム（ウインボード）

充電ケーブル899台（持ち帰り用）

**コロナ禍で、教育だけでなく町全体も大変な中、短期間でたくさんのＩＣＴ
機器などを整備していただきほんとうにありがとうございます。**

しかし・・・課題が残っています

- ▶統合型校務支援システムの導入
- ▶ＩＣＴ支援員の日数の増加



校務でのICT活用

校務のICT化は、コンピュータを使って校務を処理することが本来の目的ではない。文科省では「統合型校務支援システム」の目的として「業務の効率化」「教育活動の質の改善」の2つが挙げられています。

● 「業務の効率化」

「手書き」「手作業」が多い学校現場。

成績のデータが通知表や指導要録に連携されるため、転記にかかる時間や転記ミスを著しく減少させることができる。それにより、教員の作業的負担だけでなく、業務が効率化され、児童生徒と向き合う時間も確保できるようになる。

● 「教育活動の質の改善」

教員が学校・学級運営を行うにあたって、児童生徒の状況なども必要な情報を、一元管理・共有することが可能になる。児童生徒の情報が蓄積・共有されると、質の高い指導につながっていく。

成績管理の機能を用いてテスト効果を分析することで、日々の指導の改善に役立てることもできる。

校務の情報化は、一見、学力に直接関係ないからと後回しにされがちですが、児童生徒の学力向上に深く関係している。公務の情報化は学校運営の改善につながる。



統合型校務支援システムの機能

学籍管理	児童生徒の名簿情報の一元管理できる。地区別名簿、クラブ名簿、委員会名簿等も自動的に作成できる。転校時や進学時に、移転先の学校へ名簿情報を引き継げる。
出欠席管理	遅刻・欠席・早退等の情報とその理由を登録し、共有できる。自動的に学校全体の状況を集計できる。
成績管理	テストの得点や補助簿の評価を登録できます。自動的に集計され、テストの結果を表やグラフに表すことができます。学期末には、蓄積された成績データから、設定した評価基準をもとに自動的に総括ができる。
通知表 ・指導要録作成	校務支援システムに登録されている出欠席情報や成績情報を二次利用して、通知書・指導要録を作成できる。
時数管理	時間割や年間指導計画を登録すると、教科・単元ごとの授業の進みや遅れが確認できる。
教職員間の 情報共有	電子メール、電子掲示板、スケジュール共有等のグループウェア機能によって、校内の教職員間のみならず、教育委員会と学校間、学校と学校間の情報共有を行うことができる。また教員間で指導計画や指導案などの共有や、会議や研修に関する情報の共有ができる。
家庭や地域への 情報発信	学校ウェブサイトや電子メール等によって、保護者や地域住民に対して情報発信を行うことができる。
施設管理	施設や備品の予約情報の登録・確認ができる。

ICT支援員の活用

ICT支援員は、ICTの活用に関するアイデアや、教員の先生では入手しにくい専門的な情報を豊富に提供できる存在であり、教員の本来の業務を、より効率的・効果的に実現するためのパートナー

※学校教育法施行規則 6 5 条の 5 に、「**情報通信技術支援員（ICT支援員）**」がICT活用の支援に従事する職員として規定されている。

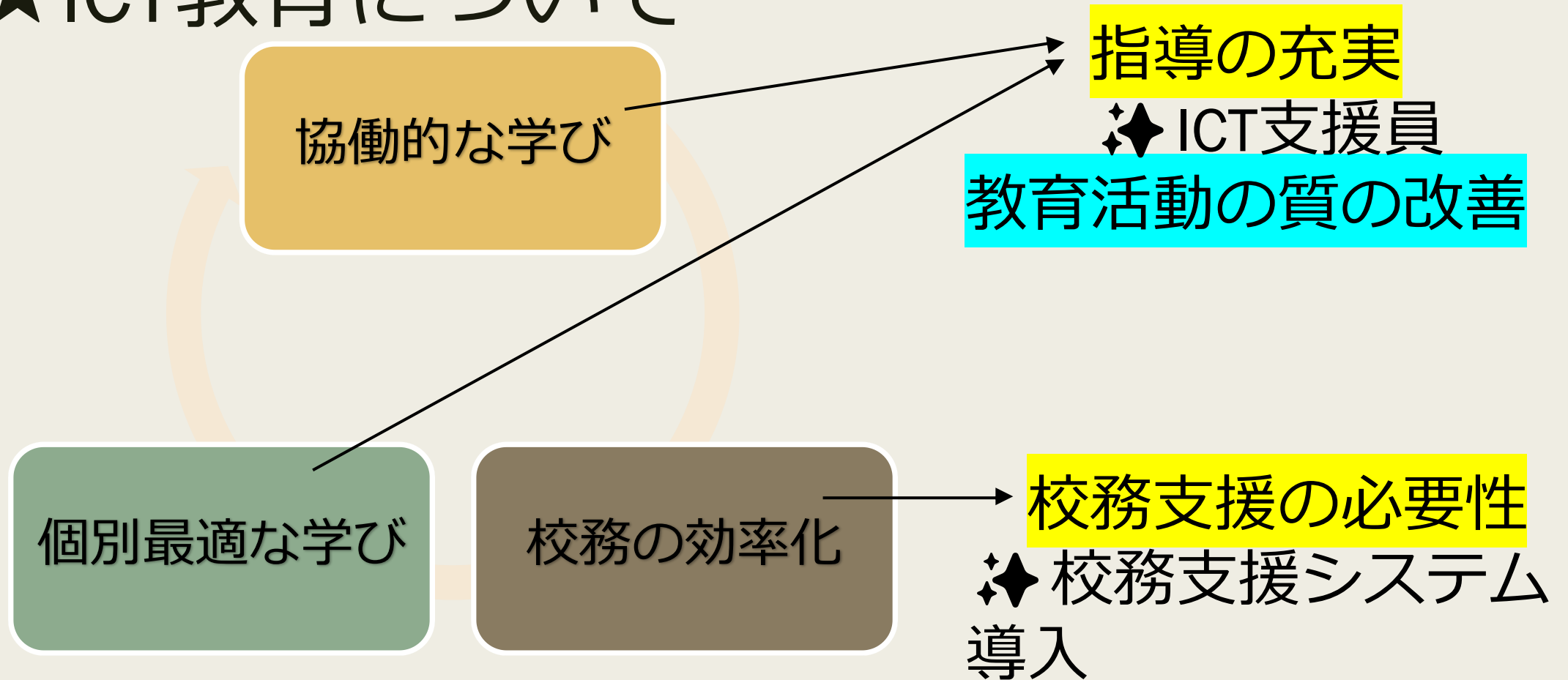
主な仕事

- 「授業でのICT活用についてのアドバイス」
- 「授業で使用するデジタル教材の作成支援」
- 「授業のためのICT機器準備」
- 「授業でのICT機器の操作方法」
- 「児童生徒のアカウントの管理」
- 「ICT活用についての校内研修」

年度	岬町でのICT支援員のお仕事
R 2 年度	GIGAスクールサポーターとして、学校における環境整備の初期対応（5 ヶ月）
R 3 年度	現場のトラブル対応（ネットワーク点検及び応急対応等）、授業支援システムの研修や、家庭での持ち帰り学習用のテストや準備、ICT機器の各種設定サポート等
R 4 年度	進級処理、ICT機器のトラブル対応

岬町のこどもたちの未来

★今後の計画・必要性
★ICT教育について



岬町DX基本計画

- 目指すまちの姿とDXの視点

基本理念

- みんなでつくる恵み豊かな温もりのデジタル社会

デジタル化により、岬町に関わる全ての人が、いつでも、どこからでも、安全、安心して様々なサービスが享受でき、人々の多様な幸せの実現を目指す

デジタル化への取り組み



★ G I G A スクールの推進

- ・児童、生徒への1人1台のタブレット端末の配置
- ・プログラミング教育の推進

★ 校務の効率化

- ・業務のデジタル化
- ・ペーパーレス化の推進
- ・文書管理、電子決済システム



教育の変化

部活動の地域移行

小学校教科担任制

地域との連携

コミュニティ
スクール

新型コロナ
感染症対応

S D G s

道徳の教科
化

小学校英語

1人1台タブレット

働き方改革

多様な学び

個別最適化

カリキュラム
マネジメント

官民連携

熱中症対応
等

デジタル教科書

メクビット

個別の対応
(いじめ・
不登校)



新しい教育に対応する教育委員会 ✨

岬町のこどもにつけたい力

学習指導要領の実施・ICT活用

学校力の向上・働き方の充実

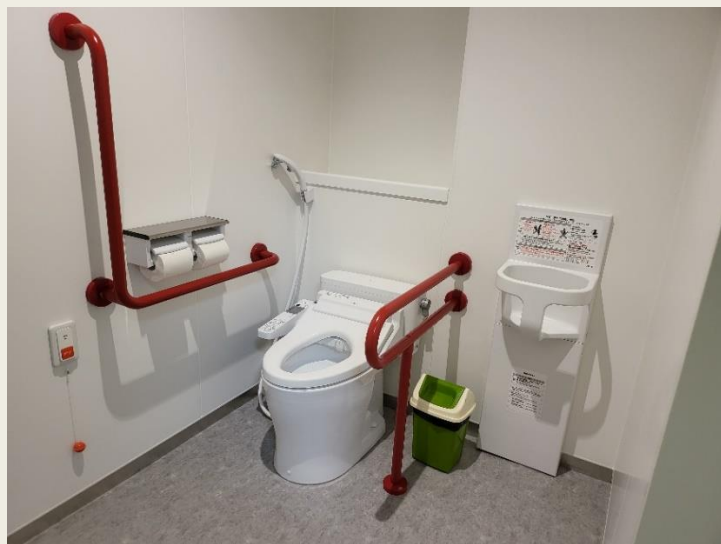
学校園を支える教育委員会体制



教 育 環 境 の 整 備 に つ い て

計 画 的 に、小 学 校 の ト イ レ 改 修 を 進 め て お り ま す。
きれいなトイレ空間を利用でき、快適な学校生活が送れるようになります。

多奈川小学校 普通教室棟2階・3階



淡輪小学校 普通教室棟2階



深日小学校 普通教室棟2階



トイレがきれいになりました！

町立小学校体育館空調機器設置工事

- 小学校体育館は、授業や社会教育活動などの地域活動の拠点機能に加え、災害時における避難所機能を有しています。
- 空調機を設置することで、熱中症対策などの学校教育環境の向上、災害時の避難所環境の向上を図ります。
- L Pガス式を採用
 - 受変電設備の大がかりな改修が不要
 - 停電発生時でも、自動的に発電機が始動
 - デマンド抑制による電気基本料金の抑制

淡輪小学校

①室内機



②コインタイマー



深日小学校

① 室外機



② 発電機



多奈川小学校

① 室外機

